

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(令和4年4月19日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和4年5月17日開催)	……	1
3	教育委員会 第6回定例会	(令和4年6月15日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和4年7月20日開催)	……	2
5	教育委員会 第8回定例会	(令和4年8月18日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和4年9月20日開催)	……	3
7	教育委員会 第10回定例会	(令和4年10月24日開催)	……	4
8	教育委員会 第11回定例会	(令和4年11月18日開催)	……	4
9	教育委員会 第12回定例会	(令和4年12月21日開催)	……	4
10	教育委員会 第1回定例会	(令和5年1月18日開催)	……	5
11	教育委員会 第2回定例会	(令和5年2月21日開催)	……	5
12	教育委員会 第3回定例会	(令和5年3月20日開催)	……	6

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	子どもと保護者で学ぶ機会の提供	……	7
イ	子ども読書活動の推進	……	8
ウ	相談体制の充実	……	8

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	9
イ	情報活用能力の育成	……	9
ウ	教職員の指導力向上	……	10
エ	ふるさと教育・キャリア教育の推進	……	10
オ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	11
カ	いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進	……	11
キ	読書活動の推進	……	12
ク	英語教育・国際理解教育の充実	……	13
ケ	非核平和教育の推進	……	13
コ	食育の推進	……	14
サ	学校給食の運営	……	14

(3)	特別支援教育の充実	
ア	就学相談体制の充実	15
イ	特別支援教育の充実	15
ウ	総合支援学校の運営	16
エ	生徒への就労支援	16
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備	16
イ	学校給食施設の整備	17
ウ	I C T環境の整備	17
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業に対する支援	18

2 生涯学習の推進

(1)	生涯学習事業の推進	
ア	学習機会の拡充	18
イ	自主活動グループの活動支援	19
ウ	公民館活動の充実	20
エ	障がいのある人の生涯学習の推進	21
オ	図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用	21
カ	人材育成の推進	21
キ	情報サービスの充実	22
ク	子ども読書活動の推進	22
(2)	青少年の健全育成	
ア	青少年への相談支援	23
イ	青少年育成指導体制の確保	23
ウ	家庭教育に対する支援	24
エ	地域ボランティアへの活動支援	24
オ	勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討	25

3 文化の振興

(1)	文化・芸術の振興	
ア	芸術鑑賞の機会の拡充	25
イ	文化団体などの育成支援の継続	26
(2)	文化財等の保存と活用	
ア	埋蔵文化財の調査・保存	26
イ	郷土資料館の整備	27
ウ	文化財の普及啓発・活用	27
エ	後継者の育成	28

4 スポーツの振興

(1) 生涯スポーツ・競技スポーツの振興

- ア 生涯スポーツの推進 28
- イ 競技スポーツの推進 28
- ウ 障がい者スポーツの普及 29
- エ 団体支援、人材育成 29
- オ 健康・体力づくりの推進 30

(2) 体育施設の整備

- ア 体育施設の整備・充実 30
- イ 屋外運動公園の改修・設備更新 31

5 人口減少対策

- ア 少子化対策と子育て支援の推進 31

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等 32

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和4年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 矢 川 京（新潟県立小千谷高等学校校長）
- ・ 藤 井 和 夫（小千谷市社会教育委員会委員長）
- ・ 吉 原 正 幸（小千谷市スポーツ協会会長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和4年度に教育委員会定例会を12回開催し、33件の議案を審議しました。また、議事録承認12件、陳情1件、協議報告事項は75件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日 時 令和4年4月19日(火) 午後2時00分～午後3時00分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和4年第3回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第9号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
----------------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項（5件）
 - ・ 入学式当日の児童生徒の欠席状況について
 - ・ 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等の状況について
 - ・ 中学校修学旅行の予定等について
 - ・ 令和4年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について
 - ・ 全県教育長会議の報告について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 令和4年5月17日(火) 午後3時59分～午後4時42分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和4年第4回定例会

- ・ 議 事 (1件)

議案第10号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
-----------------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項(5件)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖基準の変更について
 - ・ 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等の状況について
 - ・ 運動会の日程について
 - ・ 中学校リーダー研修会について
 - ・ 文化・スポーツ行事の報告について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和4年6月15日(水) 午後4時00分～午後5時07分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和4年第5回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第11号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和4年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第3号)について))	原案承認
--------	---	------

- ・ 協議報告事項(9件)
 - ・ 学校におけるマスクの着用について
 - ・ 鈴木義隆氏叙勲祝賀会について
 - ・ 小千谷学生寮入寮生歓迎会等について
 - ・ 非核平和都市宣言30周年記念事業について
 - ・ トップアスリート・ジュニアアスリートについて
 - ・ 新潟県少年の主張大会審査員について
 - ・ 西脇順三郎賞創設について
 - ・ 学校訪問の様子について
 - ・ 小学校修学旅行について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和4年7月20日(水) 午後4時02分～午後5時12分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和4年第6回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第12号	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
--------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項(8件)
 - ・ 市議会第2回定例会一般質問について
 - ・ 一学期のいじめ・不登校等について
 - ・ 中学校中越大会の結果について

- ・令和4年度新潟県少年の主張大会～わたしの主張～市内選考結果について
- ・教育委員会視察旅行について
- ・学校訪問の様子について
- ・議案発送の方法について
- ・勤労青少年ホーム、東小千谷体育センターの統廃合について

5 教育委員会第8回定例会

- ・ 日 時 令和4年8月18日(木) 午後3時07分～午後4時10分
- ・ 場 所 総合体育館大会議室
- ・ 議事録承認 令和4年第7回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第13号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案可決
--------	------------------------------	------

- ・ 協議報告事項 (4件)
 - ・ 中学校北信越大会の結果について
 - ・ 図書館等複合施設の実施設内容について
 - ・ 「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果について
 - ・ 中学校におけるフッ化物洗口の導入について

6 教育委員会第9回定例会

- ・ 日 時 令和4年9月20日(火) 午後4時01分～午後5時03分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 承議事録認 令和4年第8回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第14号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和4年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第5号)について))	原案承認
--------	---	------

- ・ 陳 情 (1件)

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書	原案可決
-------	------------------	------

- ・ 協議報告事項 (10件)
 - ・ 市議会第3回定例会一般質問について
 - ・ 小千谷みらい議会について
 - ・ 2学期始業式における児童生徒の出欠状況について
 - ・ 「中越大震災の日」に係る取組について
 - ・ 科学作品展覧会について
 - ・ 第43回小千谷トリム・ウォーキング大会について
 - ・ ウクライナ文化交流講座について
 - ・ 視察研修の内容について
 - ・ 寄附、寄贈関係について

- ・総合教育会議の議題について

7 教育委員会第10回定例会

- ・日 時 令和4年10月24日(月) 午後4時10分～午後4時52分
- ・場 所 市役所本庁舎403会議室
- ・議事録承認 令和4年第9回定例会
- ・議 事 (0件)
- ・協議報告事項(6件)
 - ・子ども議会の報告について
 - ・いじめ対策専門委員会について
 - ・第42回小千谷市展について
 - ・おぢや防災塾について
 - ・中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・市内学校の周年行事について

8 教育委員会第11回定例会

- ・日 時 令和4年11月18日(金) 午後4時00分～午後4時45分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・議事録承認 令和4年第10回定例会
- ・議 事 (1件)

議案第15号	教育事務の移管に関する意見について	原案承認
--------	-------------------	------

- ・協議報告事項(5件)
 - ・新潟県教職員組合の要望と回答について
 - ・おぢやしごと未来塾について
 - ・イングリッシュセミナーについて
 - ・小千谷学生寮見学バスツアーについて
 - ・片貝小学校大規模改造工事の状況について

9 教育委員会第12回定例会

- ・日 時 令和4年12月21日(水) 午後4時00分～午後4時22分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・議事録承認 令和4年第11回定例会
- ・議 事 (1件)

議案第16号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和4年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第7号)について))	原案承認
--------	---	------

- ・協議報告事項(7件)
 - ・第4回市議会定例会における一般質問について

- ・「年初めスポーツイベント」について
- ・おぢやしごと未来塾の報告について
- ・中学校生徒会リーダー研修会について

1.0 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 令和5年1月18日(水) 午後3時57分～午後4時38分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和4年第12回定例会
- ・ 議 事 (4件)

議案第1号	教育委員会委員の議席の決定について	原案承認
議案第2号	小千谷市教育委員会を実施機関とする小千谷市個人情報保護条例施行規則を廃止する規則の制定について	原案可決
議案第3号	魚沼地域視聴覚教育協議会規約を廃止する規約の制定について	原案可決
議案第4号	小千谷市教育長事務委任規程の一部を改正する規程の制定について	原案可決

- ・ 協議報告事項 (5件)
 - ・ 小千谷市部活動地域移行検討協議会について
 - ・ 卒業式の日程と出席について
 - ・ 3学期始業式における児童生徒の出欠状況について
 - ・ 中学校修学旅行について
 - ・ 県中学校スキー大会の結果について

1.1 教育委員会第2回定例会

- ・ 日 時 令和5年2月21日(金) 午後3時55分～午後5時05分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第1回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第5号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和4年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第8号)について))	原案承認
議案第6号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和4年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第9号)について))	原案承認
議案第7号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和4年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)当初予算について))	原案承認

議案第 8 号	小千谷市立学校医療的ケア実施要綱の制定について	原案承認
議案第 9 号 (非公開)	令和 5 年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項（5 件）
 - ・ 令和 4 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について
 - ・ エデュケーショントークについて
 - ・ 西脇順三郎賞の進行状況について
 - ・ 当市への寄贈について
 - ・ 全国中学校スキー大会の結果について

1 2 教育委員会第 3 回定例会

- ・ 日 時 令和 5 年 3 月 2 0 日(金) 午後 3 時 5 7 分～午後 5 時 0 4 分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和 5 年第 2 回定例会
- ・ 議 事 (1 6 件)

議案第 1 0 号	小千谷市スポーツ推進計画の一部改訂について	原案承認
議案第 1 1 号	小千谷市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第 1 2 号	小千谷市教育委員会事務委任及び臨時代理規則等の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第 1 3 号	小千谷市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について	原案承認
議案第 1 4 号	小千谷市教育委員会公印規程等の一部を改正する規程の制定について	原案承認
議案第 1 5 号	教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱等の一部を改正する要綱の制定について	原案承認
議案第 1 6 号	小千谷市教育委員会の権限に属する事務の委任に関する規則	原案承認
議案第 1 7 号	個人演説会等開催のために必要な施設及び個人演説会等の施設の公営のために納付すべき費用の額の一部改正について	原案承認
議案第 1 8 号	小千谷市文化財指定を廃止する告示について	原案承認
議案第 1 9 号	小千谷市立保育園条例施行規則の制定について	原案承認
議案第 2 0 号	小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の制定について	原案承認
議案第 2 1 号	小千谷市児童遊園設置条例施行規則の制定について	原案承認
議案第 2 2 号	小千谷市が設置する特定教育・保育施設に係る費用の額を定める要綱の制定について	原案承認
議案第 2 3 号	小千谷市特定教育・保育等に要する費用の額の算定	原案承認

	に関する要綱の制定について	
議案第24号 (非公開)	小千谷市教育委員会委員の辞職の同意について	原案承認
議案第25号 (非公開)	臨時代理について(教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて)	原案承認

- ・ 協議報告事項(6件)
 - ・ 令和5年度小千谷市教職員の人事異動について
 - ・ 教育委員会関連の小千谷市褒賞者について
 - ・ 市議会第1回定例会一般質問について
 - ・ 小千谷学生寮の状況について
 - ・ 卒業式の感想について
 - ・ 令和4年度教育委員会総括

II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、後期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和4年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和4年度 主要な施策の成果説明資料(兼事務報告)」(以下「資料」という。)を参照することが適当なものは、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 子どもと保護者で学ぶ機会の提供

【令和4年度の取組み】

- 幼児期における家庭教育の普及・振興を図るための講演会や親子教室等を、幼稚園等を会場として実施した。

実施回数 6(幼稚園等) 参加者数 472人

【成果及び今後の取組み等】

- 家庭教育の普及・振興を図るため、幼児期における家庭教育の課題解決のため保護者に情報提供を行うとともに、幼稚園等と連携して幼児教育の充実を図った。
- 健やかな子どもの成長のために、早い段階から基本的な生活習慣を身につけることが重要であることから、健康部局や公民館分館と連携し、啓発する

必要がある。

- わんパークの子育て講座終了後の受講者による自主サークル化への誘導が必要となる。(親同士の相談、仲間づくり、主体的な問題解決)

イ 子ども読書活動の推進

【令和4年度の取組み】

- 図書館の本を団体貸出として、幼稚園や保育園等に配本した。
439件 7,283冊 (ただし、小中学校、団体等の延べ数)
- 赤ちゃんの頃から絵本に親しみ、絵本を通じて親子の時間ができるよう、市の10ヶ月児健診を受診する親子を対象に実施するブックスタート事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせを行わず絵本等のプレゼントを行った。
実施回数 12回 171人

※資料P175～179 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ブックスタート事業を関係部局と連携し実施することで、家庭での乳幼児への読み聞かせの啓発が進んでいる。
- ブックスタート事業後のフォローアップ活動を行い、家庭での読書が継続していくための働きかけをしていく必要がある。
- 保育園等では読み聞かせや、家庭への貸し出しが実施されており、保護者への情報提供や啓発活動を多くの園で行っている。
- 子どもの本を用意する親が多いことから、今後も保育園等を通じて、本に親しむ機会を作り、併せて保護者への啓発を推進していく。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、本を手に取りやすく、本に興味をわくような空間づくり、展示方法を工夫していく。

ウ 相談体制の充実

【令和4年度の取組み】

- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 就学相談をより円滑に推進するため、各園における特別支援教育の相談窓口となる発達支援コーディネータを各園に配置し、研修会の実施や小学校との情報交換を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学相談等への助言や就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問や各園への発達支援コーディネータの配置により、早期からの就学相談が定着してきている。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制の充実を図る。
- 特別支援教育に係る研修の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【令和4年度の取組み】

- 「おぢやっ子教育プラン」（令和4～6年度）の内容を学校訪問の際に各学校に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おぢやっ子教育プラン」に基づき、校長のリーダーシップのもと、各校が「おりなす教育推進事業」計画を立て、家庭・地域と共に学校・地域の特色を生かした実践を行った。
- 各校の「おりなす教育推進事業」を冊子にまとめ配付している。各校は他校の取組を参考にすることができている。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校訪問等を通して、直接「おぢやっ子教育プラン」の教職員への周知を図ることができた。また、教育長より市教研総会にて説明があり、共通理解が図られた。
- 「おぢやっ子教育プラン」のよこ糸である家庭や地域の役割を各学校がグラウンドデザインに取り入れている。メディアコントロール・家庭学習が課題となっていることから、学校と保護者が連携しながらメディア使用時間や家庭学習の取組を進めていく。
- 小・中特別支援学校新学習指導要領の全面実施を受け、「生きる力」を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、一層取り組んでいく。

イ 情報活用能力の育成

【令和4年度の取組み】

- 一人一台パソコンを活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践が進んだ。新型コロナウイルス対応による自宅待機中や学級閉鎖中にオンライン授業の実践に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- G I G Aパソコンの利用が進むことに並行して「情報モラル教育」が重要

になってくる。セキュリティソフトのインストールなど安全にパソコンを利用できる環境をつくっていく。

- 教具としてのGIGAパソコン使用が学校の日常になってくる。デジタル教科書の使用とともに、教員の情報活用能力を高めていく必要がある。
- 小千谷の子は長時間SNSを利用する傾向にあることが全国学力・学習状況調査により明確になった。SNS利用のルールについて改訂「おぢやっ子教育プラン」（令和4～6年度）にて扱っていく必要がある。

ウ 教職員の指導力向上

【令和4年度の実践】

- 教育委員会や教育センター主催の研修会を実施した。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。
- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の実施結果を各校で分析し、学力向上や生活習慣等の向上に取り組むように指導した。

【成果及び今後の実践等】

- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の結果分析を夏休み中に実施し、2学期以降の指導に生かすことができた。学習の楽しさを実感させたり学習意欲を高めたりする手立てが大切になってくる。
- 新採用教員が増えている。小千谷塾での個別指導をとおして、教員としての基本的な資質を獲得することができた。
- 令和5年度は、中越教育事務所に要請して理科の重点指導を受ける。市立学校全体の学力課題に対応していく。

エ ふるさと教育・キャリア教育の推進

【令和4年度の実践】

- 「おりなす教育推進事業」を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人と繰り返しかかわる（おりなす）教育を推進し、ふるさとに誇りをもち、夢に向かって進む礎づくりを行った。
- コロナ禍であったが、市内の企業及び事業所からの協力を得て工夫をすることで、中学校1・2年生対象の「おぢやしごと未来塾」を実施することができた。「職場体験活動」についても感染対策の上で2年生を対象に3日間実施した。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各校が地域の特色を捉えた特色あるふるさと教育・キャリア教育を推進できた。
- キャリアパスポートの活用を進める。校種が変わっても継続して利用し、個々に求められる資質・能力を育んでいく。

オ 震災体験を活かした防災教育の推進

【令和4年度の取組み】

- 「防災教育の推進」を「おちやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 中越大震災を風化させない取組を各校で推進した。
- 中学校3年生対象の「おちや防災塾」を実施し、災害時に命を守る行動を学んだ。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「おちや震災ミュージアム そなえ館」の活用が進み、震災への心構えができてきている。中越大震災を風化させない取組を各校で継続していく。
- 地域を巻き込んだ防災訓練や体制整備を進める。
- 洪水や土砂災害など自然災害が頻繁に起こる状況になっている。地域の安全を意識し、地域の安全を守る子どもたちを育んでいく。

カ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進

【令和4年度の取組み】

- 児童生徒のいじめ報告や出欠状況報告を毎月、学校に要請している。報告を基に青少年育成センター所長、教育センター「マイルーム」指導員、市教育相談員、教育・保育課管理指導主事で毎月、相談会を行ない、実態把握や対応の検討を行っている。
- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、SNSに係るいじめの事例を県警のサイバー犯罪対策課サイバーセキュリティ戦略係の職員から提供いただき、それをもとに協議を行った。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、令和4年度に実際に起きたSNSに係るいじめの事例を基に、様々な立場から、いじめ対応についての専門的なご意見をいただいた。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を年2回、実施し、対応力の向上を図った。
- 改訂された「新潟県人権教育基本方針実践のための教職員研修の手引き」基に、一層の人権教育、同和教育を推進していく。

○東小千谷小学校を指定校に「人権教育研究指定校事業」を実施し、教職員研修会を年2回、人権教育に関する道徳授業の学習参観を年1回実施し、人権教育を推進した。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

※資料P160 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校の早期発見・早期対応により、いじめの重大事態はなかった。
- 生徒指導担当者研修を受けて、各校でいじめに関する教職員研修が行われ、教職員のいじめに対する知識や対応能力の育成が図られた。
- 小・中学校とも不登校児童生徒が増加している。一人一人の子どもの状況に応じたより丁寧な早期対応、組織的な対応が必要である。
- 児童生徒、保護者の不安や悩みに寄り添った支援の充実が大切である。教育委員会主催の「不登校児童生徒親の会（スマイルの会）」を立ち上げ、保護者支援を行っていく。
- 不登校については、学級担任が抱えることなく、校内での協力体制や外部の専門機関との連携を図っていく必要がある。教育委員会がハブの役割を果たしていく。
- 同和教育に関わる教職員の研修支援を継続していく。

キ 読書活動の推進

【令和4年度の取組み】

- 各学校の要望により図書館が出向き、大型紙芝居や読み聞かせを行う「学校おはなし会」を2小学校で実施した。
- 遠隔地の小学校でミニ移動図書館を実施した。
1小学校 計6回 貸出延べ118人、275冊
- 数冊の図書をテーマに沿って紹介し、本への関心や読書への意識向上を図るブックトークを実施した。
3小学校 計14回 参加者延べ346人
- 市内小中学校を訪問し、読書活動等の情報交換を行った。

※資料P175～179 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、読書教育、資料の活用等について学校図書館と連携を図っていく。
- 学校の昼休みにイベントの告知などに伺うことで、大勢の参加者を得ることができた。今後も図書館で学校向けに行っている各種サービスの利用が

増えるよう、学校に向けてさらに情報発信をする。

- 学校図書館担当者連絡会議などで情報交換を行うことで、ブックトークなどの学校向け事業の利用につながり、子どもたちが読書へ興味を持つきっかけづくりとなった。
- 授業に関連した教材提供など、学校の要望に対応するよう連携を図る。
- 書架整理や新着図書の入庫など地域ボランティアと連携して行うことで、学校図書館を訪れやすい環境に整える必要がある。

ク 英語教育・国際理解教育の充実

【令和4年度の実施】

- ALT 4名、外国語指導助手1名、英語教育推進員1名を配置し、外国語教育、国際理解教育を推進した。
- ウィンターイングリッシュキャンプは、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、小学生、中学生と一緒に参加し、半日で実施した。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の実施等】

- 令和4年度は感染症対策をした上で、ウィンターイングリッシュキャンプを実施でき、児童生徒の国際理解の推進、英語力向上を図ることができた。令和5年度も推進していきたい。
- ALT（外国語指導助手）4名体制、小学校5・6年外国語は英語専科教員とALTとのTT授業（ティームティーチング授業）、3・4年生はと英語教育推進員と学級担任とのTT授業体制を、今後も維持していく。

ケ 非核平和教育の推進

【令和4年度の実施】

- 被爆体験伝承講話会が実施され、市内中学生が被爆体験者から直接話を聞く機会をもった。
- 非核平和都市宣言30周年を記念し、非核平和ポスター展に市内中学生等が「世界が平和であることの大切さ」などを題材にしたポスターを作成し展示した。

【成果及び今後の実施等】

- 被爆体験伝承講話会や広島平和記念式典への生徒の派遣事業などを通して、核のない平和な社会を築くことの大切さについて、実感をもって学ぶことができた。
- 社会科や国際理解教育、道徳教育等、様々な学習場面で、児童生徒に生命や平和の大切さを伝えていく。

コ 食育の推進

【令和4年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。毎月の食育の日（19日）に市内統一の「おぢやっ子わくわくメニュー」を提供することで食育の推進を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。更に、地場産物の利用促進を図るため、地元納入業者及び農家と懇談会の場を設けた。また、良質な小千谷産コシヒカリによる学校給食を継続するため、越後おぢや農業協同組合と覚書を締結し安定的な米飯給食の推進を図った。
- 「10.23中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料P181～182 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。また、地元納入業者及び農家との懇談会を継続し、小千谷産の地場野菜の利用向上を推進していく。
- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続していく。また、「おぢやっ子わくわくメニュー」を継続し、食育の啓発を図る。
- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。

サ 学校給食の運営

【令和4年度の取組み】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 安全・安心な給食を提供するため、調理員等を対象とした研修会を継続して行う。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【令和4年度の取組み】

- 各園の「発達支援コーディネータ」を対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集し、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について保護者と学校との調整を図ることで、就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 新規に配置された特別支援教育指導主事を中核として、各園職員の特別支援教育への理解、各小中学校の専門相談員の適切な就学の相談や判断のあり方等の研修を進めていく。

イ 特別支援教育の充実

【令和4年度の取組み】

- 小・中・総合支援学校に特別支援アシスタント30名、小学校に学校支援員16名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。年間5回の教員向け研修会を実施した。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かした相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料P163 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P165～166 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P168 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が、各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 新規に配置された特別支援教育指導主事を中心として、発達障がいや疑われる児童生徒に対する適切な支援、通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童に対する対応や支援等を学ぶ研修をさらに充実させる。

ウ 総合支援学校の運営

【令和4年度の取組み】

- 地域コーディネータを配置し、各校と総合支援学校との連携を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を年5回実施し、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定子ども園との連携が年々充実してきている。
- 教員のニーズに応じた研修講座を実施し市内教職員の積極的な参加を促す。

エ 生徒への就労支援

【令和4年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- 生徒の希望に沿った現場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に応じた就労につなげることができた。
- 令和4年度の高等部の卒業生9名の内、3名が企業就労、6名が福祉サービス事業所利用であった。
- 高等部の卒業生の増加に伴い、更に生徒の希望に沿った受け入れ先を開拓していく必要がある。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備

【令和4年度の取組み】

- 小学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・片貝小学校東校舎大規模改造工事
- ・東小千谷小学校プールろ過配管漏水対応工事
- ・片貝小学校プールろ過タンク塗装工事
- ・千田小学校給食配膳室エアコン設置工事

- 中学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・片貝中学校1階管理諸室冷暖房設備更新工事
- ・千田中学校2階西側バルコニー防水改修工事
- ・小千谷中学校プールろ過機引き込み管改修工事

- 総合支援学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・総合支援学校 2 階普通教室冷暖房設備更新工事

- ※資料 P164 「○小学校施設整備事業」参照
- ※資料 P167 「○中学校施設整備事業」参照
- ※資料 P167～168 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。
- 学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。

〈今後の主な工事〉

- ・小千谷中学校管理・普通教室棟長寿命化改良工事
- ・総合支援学校職員室等増築工事

イ 学校給食施設の整備

【令和 4 年度の取組み】

- 吉谷小学校給食室食器消毒保管庫入替工事

【成果及び今後の取組み等】

- 今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

〈今後の主な工事〉

- ・給食センターガス焚き温水ボイラ更新工事
- ・給食センター調理室照明ランプ LED 化工事

ウ ICT 環境の整備

【令和 4 年度の取組み】

- 学習端末の活用を図るため、教職員対象の活用研修を実施した。
- ICT 教育を推進するため、情報通信技術支援員の配置及び教育情報教育業務委託を継続して行った。
- 学習の効率化を図るため、大型掲示装置の段階的導入を始めた。
- 教職員等が使用する校務支援ソフトを整備した。

- ※資料 P161～162 「○教育センター経費」参照
- ※資料 P163 「○小学校教育振興経費」参照
- ※資料 P165～166 「○中学校教育振興経費」参照
- ※資料 P168 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ICT活用授業実践研修や学習端末活用研修を実施し、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力が向上した。
- 情報通信技術支援員及び外部委託により、各校のICT教育推進を支援しながら進めたことで円滑な導入を図れた。引き続き、教職員の負担が過度にならないよう学校の取組を支援する。
- 総合学習支援ソフトの整備により学習端末を使用した授業が活発化された。更に活用を図るため、教職員のフォローアップ研修を進めていく。
- 校務支援システムのグループウェア機能により個人連絡も容易に行えるようになり、学校を超えた情報共有や課題解決に向けた取組を進めることができた。引き続き、通知表作成など事務のデジタル化を進め、事務負担の軽減を図る。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業に対する支援

【令和4年度の取組み】

- (公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。
 - ・貸与者数 新規 14人 継続 44人 計 58人
 - ・令和4年度貸付総額 16,752千円
- (公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。
 - ・学生寮入寮者数(4月1日現在)
新規 5人 継続 8人 計 13人

※資料P156 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷学生寮見学バスツアーの実施や広報活動を行い、女子学生8人から入寮の応募があった。
- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 生涯学習の推進

(1) 生涯学習事業の推進

ア 学習機会の拡充

【令和4年度の取組み】

- 第2次生涯学習推進計画に基づき、市民に学習機会を提供した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら高齢者教育や青少年体験活動、家庭教育支援など多様な学習機会の提供に努めた。オンラインでの参加も可能な講座も実施したが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により参加者の増減の幅が大きくなり継続的な学習活動の実施が難しかった。
- 障がい者の学習機会の充実を図るため、市内の障がい福祉サービス事業所が実施する学習活動へ講師派遣や市民会館での集合型学習を行った。
- 特別な配慮が必要なお子さんをはじめとした、子育てに悩んでいる方を対象に学習機会を提供した。
- 市民に対して市政に関する学習機会を提供するため、出前講座を実施した。いきいきサロンやデイホームなどで、学びの素材として提供できた。(実施回数：31回、参加者数：延べ858人)

※資料P168～169 「○社会教育総務経費」参照

※資料P172～174 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- コロナ禍でも、継続的な学習機会を提供した。高齢者からは、対面の学習を望む声があった。
- 生活課題の解決や生活資質向上のため、急速なITの普及に対応できない人の学習支援を行う必要がある。
- 第2次生涯学習推進計画の浸透を図るとともに、関係機関・団体等と連携し、文化スポーツ課の持つコーディネータ機能を発揮しながら計画を推進していく。
- 成果や効果を実感できるプログラム作りに努め、継続的・循環的な学習を提供する必要がある。
- 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学級・講座の開催や参加しやすい環境づくりに努めることにより、生涯学習への関心を高め、参加者の増加を図っていく。
- 公民館分館においては、地域課題などの解決のため、専門の講師による出前講座を活用しながら、学習機会の仕組みづくりを推進する必要がある。
- 障がい者の生涯学習を推進し、学習の機会を充実させるため、障がい福祉サービス事業所や高校生・ボランティアと連携しながら、集合型学習の機会を充実する必要がある。

イ 自主活動グループの活動支援

【令和4年度の取組み】

- 社会教育団体登録制度により、69団体に対し社会教育施設の利用に対して支援を行った。

- 公民館等で実施している講座から、新たに自主サークルとして学習活動へ移行するための助言・指導を行った。
- 市内で活動する障がい者団体の職場体験活動に協力した。

【成果及び今後の取組み等】

- 登録した社会教育団体に対して、利用した使用料の支援を行った。
- 市民会館の利用者は、社会教育登録団体の利用が多く、減免措置を講ずるなど今後も自主的に活動しているグループの支援を継続する必要がある
- 市民の自主的な活動による学習活動や成果発表の新たな場を生み出すため、自主グループを作り出す支援が必要である。

ウ 公民館活動の充実

【令和4年度の取組み】

- 高齢者学級、美術教室、外国人のための日本語教室、家庭教育地域交流振興事業を実施した。
- シニア世代を対象としたステップアップシニアでは、1回につき約30人から120人の幅で参加があった。(全12回開催、延べ611人参加)
- 公民館分館活動においては、文化・スポーツ事業を中心に延べ15,663人が参加した。

※資料P172～174 「○公民館経費 ○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ステップアップシニアではコロナ禍でも継続的に学習できるよう、話題性のあるテーマを多様な視点で取り上げるとともに、新型コロナウイルス感染に配慮して収容人員の大きな会場を使用し、フィールドワークを織り交ぜ学習活動を実施したことにより、多くの参加者があった。
- 美術講座の受講者の中から、市美術展へ出展する人がいた。
- 市民のニーズを把握し、関係団体との連携・協力により多様な講座の開催や参加しやすい環境づくりに努める必要がある。
- 市職員による出前講座を活用するなど、質の高い学習や交流の深まる学習プログラムを展開し、受講者の生活課題の解決に向けた学習機会の提供に努める。
- 公民館分館の活動について、新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら活動が増加してきた。
- 中山間地域の公民館分館において、高齢化や人口減少により活動の停滞が見られることから、分館活動のあり方について検討する必要がある。

エ 障がいのある人の生涯学習の推進

【令和4年度の取組み】

- 障がい者の学習機会を充実するため、障がい福祉サービス事業所や関係団体と連携し、障がい福祉サービス事業所施設での学習会に講師を派遣した。
(3施設 全8講座、参加者数：延べ199人)
- 誰もが参加できる集合型の学びの場として、ボッチャ教室を開催した。(実施回数：3回、参加者数：延べ31人)

【成果及び今後の取組み等】

- 新型コロナウイルス感染拡大により、障がい福祉サービス事業所内での学習が中心となり、ボランティアや高校生との学習が困難な状況であった。
- 引き続き、障がい福祉サービス事業所や高校生・ボランティアと連携しながら、より多くの人に参加できる形式を検討していく。

オ 図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用

【令和4年度の取組み】

- 図書館等複合施設の設計や運営に市民が参画する場として小千谷リビングラボ「at!おぢや」を開催した。(7回開催)
- 老朽化の進む社会教育施設の整備を行った。
 - 市民学習センター冷温水発生機更新工事
 - 市民学習センター屋上防水改修工事
 - 市民会館大ホール舞台機構更新工事
 - 市民会館ガスヒートポンプエアコン3号機更新工事

【成果及び今後の取組み等】

- 図書館等複合施設運営等について、小千谷リビングラボ「at!おぢや」で市民と対話をしながら、管理運営計画案を作成した。
- 図書館等複合施設の情報環境を整備するための情報環境計画書の作成を行った。
- 老朽化の進む社会教育施設を優先し、計画的な施設整備を進める。
- 地域の知の拠点として、郷土資料館機能等の様々な機能を持った図書館等複合施設の整備を進める。

カ 人材育成の推進

【令和4年度の取組み】

- 次世代のリーダーとなる人材の育成とネットワークを形成するため、企業等に勤務する20～40歳代の方を対象に「人材育成リーダー養成講座」を開催した。(実施日数：4日、参加者数：延べ52人)

【成果及び今後の取組み等】

- より多くの企業等から参加できるよう、開催方法を検討する。
- 参加者一人ひとりが研修の成果を実感でき、さらに活躍できるように、参加者同士の横のつながりを深める必要がある。

キ 情報サービスの充実

【令和4年度の取組み】

- 図書館では、月ごとに展示している特集コーナーに地域の情報を発信する月を設け、市民に身近な情報を提供した。
- デジタル情報活用のため、親子で参加できるプログラミング教室を実施した。(1回 24人参加)

【成果及び今後の取組み等】

- 市民に有益な情報が提供できるよう、企画や情報発信を行うとともに、職員の資質向上のための研修等を実施する。
- 枠組みに縛られず自由な発想でプログラミング等を行う講座内容が好評であった。今後はより参加しやすい形での事業実施を検討する。

ク 子ども読書活動の推進

【令和4年度の取組み】

- 読書活動推進のため定期的なおはなし会や「夜のおはなし会」や「クリスマスおはなし会」など、イベントに合わせた季節や実施時間などを工夫して子どもと読書をつなげる事業を実施した。
- ボランティアグループと協力してブックトークや読み聞かせの活動を実施した。
- 利用者を獲得や新しい図書館の使い方を知ってもらうため、図書館や郷土の謎を解きながら図書館を知ってもらうイベントを開催した。(2回 計393人)
- 小千谷高等学校と連携して秋の読書週間にPOP展や等を実施した。

※資料P175～179 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「第2次子ども読書活動推進計画」に基づいた取組みを進める。
- 図書館を知ってもらうために開催した謎解きイベントは、昨年は春秋一日ずつであったものを春は子どもの読書旬間期間としたため、多くの子どもたちが参加してくれた。また、このイベントで初めて図書館に来たという子どももあり新たな利用者の獲得につながった。
- 本の特集コーナーやミニコーナーの展示方法を工夫し、展示を新しいもの

に定期的に替えることで特集本の貸出数が増加した。

- 高校生との連携事業は、今年も小千谷西高等学校も参加する予定であったが、大雪の影響を受け開催することができなかった。
- 高校生が自主的に企画、活動できる場として図書館を利用できるよう働きかけていく。
- 本による読書体験とあわせて、様々な形態での情報や体験が取得できるサービス体制を構築する必要がある。

(2) 青少年の健全育成

ア 青少年への相談支援

【令和4年度の取組み】

- 面談、電話相談、電子メールによる相談を実施した。青少年の悩みに応え、人生の目標を見出すよう導くための対応を行った。(相談件数 延べ34件)
- 相談者は主に中学生、高校生であり、電話による相談が多い。数年にわたる継続的な相談もあるほか、無言電話も続いている。

※資料P171～172 「○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 相談内容により他機関の専門相談員と連携し、課題解決の支援ができた。
- 青少年自身の悩みへの対応のほか、子どもの不登校や学校生活における保護者による相談も増えてきており、継続的な支援を行っていく必要がある。

イ 青少年育成指導体制の確保

【令和4年度の取組み】

- 青少年育成センター運営協議会、青少年補導委員会、青少年問題協議会による会議を開催した。
- 青少年補導委員による街頭補導活動（愛の一声運動）を積極的に行い、青少年の状況把握に努めた。

※資料P171～172 「○青少年対策経費 ○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 街頭補導を年間44回実施し、従事者は延べ132人、声かけをした少年は1,304人であった。
- 青少年育成センターを中心に学校・地域・PTAなどと連携を図り、広報活動による啓発活動を通して、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進する。

- 青少年育成指導委員が学んだ知識や技術等、学習成果が生かせるような技術の向上を目指す研修会を実施する必要がある。

ウ 家庭教育に対する支援

【令和4年度の取組み】

- 乳幼児期・少年期における家庭教育の啓発を図るため、家庭教育地域交流振興事業として小中学校や幼稚園が行う講演会等に講師を派遣する等の支援を行った。(実施回数：19回、参加者数：延べ1,148人)
- 「子育て講座」、「子どもの心のコーチング講座」、問題行動のある子どもへ「ペアレントトレーニング講座」を開催した。(全3講座、実施回数：6回、参加者数：延べ48人)

※資料P172～174 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 子育てに悩みを抱える保護者に対して、焦点を絞った講座を実施し、参加者の学習が深まった。
- 子どもを取り巻く状況や社会の課題を的確にとらえた講座、教室を学校・PTAなどと連携し、今後も継続して実施する必要がある。
- 多様化する考えの広がりや基本的な発達心理の知識の啓発のため、行政機関や関係団体と情報を共有し、連携しながら事業展開することが必要である。
- 家庭におけるメディアコントロールやSNSへの対応、基本的な生活習慣の習得を強化する。

エ 地域ボランティアへの活動支援

【令和4年度の取組み】

- 高齢者学級のサークルや社会教育活動団体が小学校においてボランティア活動を行えるよう調整したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ボランティア活動を辞退する高齢者がいた。
- 放課後子ども教室における学校ボランティアの情報交換のための代表者会議を開催した。また、子どもたちが活動できるニュースポーツについて研修会を実施した。
- 高校生が地域の行事や市主催事業へボランティア参加できるよう調整した。

【成果及び今後の取組み等】

- 学校や関係機関と連携して感染症に関する情報を、正しくボランティアに伝える必要がある。
- 地域ボランティアの活動の励みとなるよう、今後もいきいき県民カレッジ

「成果活用手帳」を希望者に配布していく。

- 地域ボランティアの資質向上のため、行政機関が実施する各種研修会に積極的に参加するように努め、地域ボランティアの拡充や交流を推進していく必要がある。

オ 勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討

【令和4年度の取組み】

- 教養講座として、延べ88講座・教室を開催した。(参加者数：延べ825人　うち30歳以下の勤労青少年58人)
- 講座の参加者を対象とした講座に対するアンケート調査を実施した。
- 講座の参加者がより主体的に活動を行うよう、自主グループ化に向けて指導・助言を行った。
- 世代間の交流の場を創出するため、ホットプラザ祭を実施した。(2日間実施、参加者数：延べ608人)

※資料P109～110 「○勤労青少年ホーム運営事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 若者のニーズを把握するように努め、課題に対応した学習機会を提供する必要がある。
- 講座・教室への新規の参加者を増加させるため、SNSを活用した講座・教室のPRを実施し、勤労青少年を始めとした幅広い世代への情報発信に努める。
- 同世代及び異世代との交流の場を提供し、若者世代のつながりの強化や育成を推進していく必要がある。
- 勤労青少年に該当する利用者が減少しているため、勤労青少年への活動支援と活動拠点のあり方について検討する。(利用者数131人のうち30歳以下の勤労青少年7人)

3 文化の振興

(1) 文化・芸術の振興

ア 芸術鑑賞の機会の拡充

【令和4年度の取組み】

- 小千谷闘牛場を舞台にして市民オペラ「カルメン」の公演を実施した。プロの出演者に交じり、市民47名が出演した。(観覧者：1,155人)
- 乳幼児から高齢者まで音楽に触れる機会として、「アミューズ・クインテットコンサート in おぢや」や「キッズのためのはじめての音楽祭」を開催した。
- 若年層の作品創出意欲を高めるため、高校生を対象にデッサンや写真、陶

芸の教室を開催した。

- 市民会館 連続講座『知る』『今だから知りたい“表”の戊辰と“裏”の戊辰』と連動した企画展「～幕末の小千谷を“もの”から感じる～」を開催した。講座終了後の展示解説や、資料の寄贈受入と寄贈資料の速報展等をあわせて実施した。(来場者1, 348人)

【成果及び今後の取組み等】

- 市民オペラ「カルメン」公演は、地元の団体や多くの関係団体と連携して実施できた。この結果、地域住民と一緒に地域アイデンティティを高めることができた。また、開催にむけ市内外の多くの方から支援をいただき PR とともに関係性を築くことができた。
- イベント公演を契機に、音楽サークルの結成に結び付いた。
- 芸術文化の充実を図るため、他の自治体との相互協力を図っていく必要がある。

イ 文化団体などの育成支援と継続

【令和4年度の取組み】

- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、多彩な活動を展開する文化団体への支援を行った。
基金活用団体 3団体
- プロの芸術家による学校での吹奏楽部員への指導や市民への指導会を行った。
- 市内で活動する個人や団体に対し、活動の成果を発表する機会として、市民文芸のつどい・文芸おちや発刊・小千谷市美術展覧会などを開催した。
- 市民会館などにおいて、団体等が作品展示する機会を提供した。
- 高等学校と連携して、制作や作品展示する機会を提供した。

※資料P172～175 「○公民館事業 ○芸術文化振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- プロの芸術家から市民や中高生が直接指導を受ける機会があり、技術レベルが向上した。また、美術展への作品増加につながった。
- イベントをきっかけとして結成されたサークルに対して、助言指導を行う。
- 引き続き、市内高等学校と連携して、制作や出展する機会を提供するように努める。

(2) 文化財等の保存と活用

ア 埋蔵文化財の調査・保存

【令和4年度の取組み】

- 各種開発に伴う埋蔵文化財の試掘調査を小栗田地区等、延べ9ヶ所で開催

した。

【成果及び今後の取組み等】

- 上片貝地区の前島遺跡において本発掘調査を実施し、戦国時代～江戸時代の大型掘立柱建物を伴う集落跡の記録保存を行った。
- 埋蔵文化財の試掘確認調査、分布調査により、小千谷市域で縄文時代～室町時代の遺跡、38件を発見した。
- 令和5年度以降も県営圃場整備等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を予定しており、関係機関等と連携・協力し進める。

イ 郷土資料館の整備

【令和4年度の取組み】

- 文化施設建設基金の預金利子を積立てた。現在高は約7億1,337万9千円となった。
- 郷土資料館機能を持つ図書館等複合施設の開設に向け、準備を進めている。

【成果及び今後の取組み等】

- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、図書館や郷土資料館等の多様な機能を持つ複合施設の整備を進める。
- 現在収集・保管する資料を、今後保存・活用していくための整理作業を進めている。
- 整理作業の成果として、これまで未公開であった資料を用い、市民会館ホワイエ等で展示・公開を行うことができた。
- 展示・公開を通して、展示資料における市民ニーズを確認し、郷土資料館の展示や活用方針を検討する必要がある。

ウ 文化財の普及啓発・活用

【令和4年度の取組み】

- 図書館等複合施設における地域アーカイブ事業の一環として、民具や写真を市民の思い出聞き書き等調査をあわせて行った企画展「レトロな小千谷とひな祭り」を絵紙保存会と協働し展示・運営を行った。(来場者963人)

【成果及び今後の取組み等】

- 企画展は小千谷にゆかりのある内容で実施し、市民のみならず市外の方からも好評を得た。
- 引き続き文化財を活用し、市民から文化財の理解を深めてもらう必要がある。

エ 後継者の育成

【令和4年度の取組み】

- 小千谷縮布技術伝承者養成事業補助金などにより、小千谷縮技術保存協会が実施する後継者養成事業を支援した。

※資料P169～170 「○文化財保存事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 伝統文化の保存と継承のため、小千谷縮技術保存協会等と連携し、継続した取組みが必要である。

4 スポーツの振興

(1) 生涯スポーツ・競技スポーツの振興

ア 生涯スポーツの推進

【令和4年度の取組み】

- 各種大会や教室、講習会等の事業を、感染症対策を講じながら開催した。
- 生涯スポーツ活動の推進を図るため市内各団体からの依頼に対して、スポーツ推進委員を講師として派遣した（17回）。

※資料P182～185 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 高齢者の運動教室は人気が高く、運動の習慣化が図られていることもあり、健康寿命延伸に向けて、今後も継続して取り組む。
- 親子運動教室は、幼児期の運動習慣が子どもの発達に良い影響をもたらすことの認識が浸透してきており、関係団体等と調整、連携を図りながら事業を継続して取り組む。

イ 競技スポーツの推進

【令和4年度の取組み】

- 各種スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して開催した。
- ジュニア層の競技水準の向上を図るため、学校、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して、ジュニア選手の育成・強化に努めた。また、全国で活躍し、世界を目指すトップレベルの選手の活動支援を行った。

※資料P182～185 「○社会体育振興事業」

P184

「○スポーツ振興基金事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- スキーやソフトテニス、バレーボール、フットサル、バスケットボール、野球、ゲートボール等の競技で全日本選手権大会や国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、ねんりんピック等の全国大会出場者へ報奨金を交付し、支援した（60件）。
- 全国、世界に通用する選手・チームを数多く輩出できるように、今後も市スポーツ協会及び種目別競技団体等と、さらに連携して取り組む。
- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、今後も全国大会以上の大会へ出場する選手・団体に対し、報奨金を支給するとともに、世界の舞台上で活躍する選手のサポート事業を実施する。
- オリンピック、パラリンピック大会などへの出場を目指す選手の支援に取り組む。

ウ 障がい者スポーツの普及

【令和4年度の取組み】

- 障がい者スポーツ理解促進普及交流事業として、7月に「ボッチャ大会 in 小千谷」を開催、25チーム、117人が参加した。

【成果及び今後の取組み等】

- 障がいの有無に関わらず、ともにスポーツに親しむ機会が創出されてきており、今後も障がい者スポーツの普及交流を通じて、障がいに対する理解を広める取組を進めるため、運営スタッフを確保しながら、ボッチャ大会等を開催する。

エ 団体支援、人材育成

【令和4年度の取組み】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会の指導者育成事業を活用し、指導者の養成と資質向上を目的とした講習会を開催した。
 - ・種目別競技（野球1回、クロスカントリースキー2回）講習会（参加者数延べ191人）
 - ・専門指導者活用事業（64回 参加者数延べ1,367人）
- スポーツ推進委員の資質向上のため、スポーツ推進委員協議会での情報交換のほか、当市及び他市で開催された合同研修会に参加した。

※資料P182～185 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 質の高い指導を求める声が高まっており、今後も長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会や新潟県の事業等を活用し、実技講習会のほか、指導方法や

コミュニケーションスキル向上を取り入れた、ジュニアスポーツ指導者のための講習会を開催する。

- 幅広い年齢層の市内各団体から、スポーツ推進委員の講師派遣依頼を受けており、さらなる指導力向上のための内部研修会を実施するとともに、外部研修へも継続参加する。

オ 健康・体力づくりの推進

【令和4年度の取組み】

- 拠点施設である総合体育館トレーニングルームのマシン整備・更新を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、利用者にトレーニングメニューの提供を行った。

新規登録者数 235人 利用者数 28,534人

- 健康づくりと成人の運動習慣化を図るため、健康こいこいポイント事業（ポイント制の運動教室）を行った。

《健康ポイント事業》 ※事業主体は、健康未来こども課

運動のきっかけづくりとなる事業や体力測定会を定期的に行い、運動に関する相談窓口を設けた。

健康こいこい教室

地域編 2会場 参加者実人数21人

一般編 2会場 参加者実人数24人

体力ヘルスチェック 10回 参加者数延べ120人

運動コンシェルジュ（相談窓口） 6件

【成果及び今後の取組み等】

- 総合体育館トレーニングルーム利用者のニーズ把握に努めるとともに、マシン整備・更新を継続し、市民の体力づくりに繋がる施設としても活用を図る。

- 健康こいこいポイント事業では、参加すると運動の良さを体験し、健康意識の向上につながっている。

今後も、関係課や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、運動する機会の提供や運動メニューの考案等を通じて、各種スポーツ教室の充実を図る。

フレイル予防運動器科学講座との連携だけでなく、企業への情報発信や各年代層にわたる運動の習慣化を図っていくほか、活用しやすい事業のあり方を検討する必要がある。

(2) 体育施設の整備

ア 体育施設の整備・充実

【令和4年度の取組み】

○施設の改修及び更新等

- 総合体育館空調設備用自動制御機器更新工事
- 総合体育館メインアリーナ・サブアリーナ屋根修繕工事
- 総合体育館・市民プール照明LED化改修工事
- 市民プールボイラー更新工事

※資料P186～187 「○総合体育館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 設備の更新や改修等により、施設の良い維持管理とコストの削減が図られた。
- 老朽化の進む施設を優先し、計画的に施設整備を進める。

イ 屋外運動公園の改修・設備更新

【令和4年度の取組み】

- 施設の改修等
 - 白山運動公園陸上競技場トイレ等整備工事
 - 白山運動公園陸上競技場備品庫解体工事

※資料P185 「○都市公園体育施設等管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- トイレ設備の改修等により、利用者の利便性向上が図られた。
- 屋外体育施設の適正配置を進めるとともに効率的な管理運営を行う。

5 人口減少対策

ア 少子化対策と子育て支援の推進

【令和4年度の取組み】

- 独身者に対する出会いの場を創出するため、「ときめきめぐりあい推進事業」を引き続き実施した。
- めぐりあい（お見合い）は40回、男女イベント14回、女子会・男性セミナー8回を実施した。コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、少人数での男女のイベント、女子会イベント・男性セミナーを実施し、出会いの場や自分磨き、情報交換を行う場を創出した。
- 新規会員の獲得とイベント等への参加を促すため、公式ライン、Instagram、ツイッターの運用を開始し、比較的若い世代をターゲットにした周知を行った。

※資料P171 「○ときめきめぐりあい推進事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 令和4年度の会員数は、新規に22人が入会し、全体で169人となった。
(男性118人、女性51人)
- 女性会員について、女子会イベントを通して入会した方がいたが、全体としては少ないため、効率的な募集方法を検討する必要がある。
- 2組の成婚があり、成婚による市外からの転入は1人である。本事業開始(平成21年度)から令和4年度まで、成婚による市外からの転入者は36人となり、誕生した子どもは少なくとも44人を超えた。
- めぐりあいサポートセンターは、会員ではない過去のイベント参加者や、センターの紹介ではない相手についての会員の相談にも対応している。
- 近隣のサポートセンターを設置している自治体間同士の情報交換や連携を図る。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和4年度の取組状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

1 学校教育の推進

- ・小学校、中学校を合わせて60人近い不登校児童生徒がいることは大きな問題。不登校児童生徒親の会を立ち上げていただいたことで、不登校の親御さんは学校には直接言いにくいこともあるので、保護者同士の会話の中で、解決の糸口が見つかることを期待している。
- ・ウィンターイングリッシュキャンプは、学校に通知しても手を上げてくれる子どもが少ない。外国の生活や英語に関心を示すきっかけ作りとして積極的に参加してもらいたい。
- ・新潟市、長岡市、十日町市などは市で海外派遣をやっている。小千谷でもそういう機会を子どもたちにとってあげて、小千谷の良さを再認識する機会としてほしい。
- ・ICT推進教育では、パソコンを使って情報収集などかなり教育が進んでいる。メールからいじめにつながることなど、SNSの使い方は家庭で教えられる部分とそうでない部分もあると思うので、その利用方法に関してはある程度、方策を持って対応していただきたい。
- ・子ども読書活動については、機構改革により、生まれたところから保育、そして小学校、中学校へいくところがひとつのつながりになり、更に強いつながりのもとに進んでいくことを期待している。保育園では読み聞かせや子ども読書支援をしっかりとやっても、小学校に上がると忙しくなってきたり読書どころではなくなり、違う方向に進んでいくに従って、読書というものから遠のいてしまう。力を入れて取り組んでほしい。

- ・おちやしごと未来塾が継続して更に発展的につながってきていて、小千谷市の規模としては素晴らしく、事業所と学校教育とのつながりをつくってきた成果である。
- ・定例教育委員会に出るたびに、不登校の児童生徒のこと、その支えている保護者のことを心配して、なんとかできないかということで最重要課題のひとつとして捉えて情報提供を常にしている。
- ・読書について、市立図書館の移動図書館で本を借りることができて非常に喜んでいられる。移動図書館で本に触れられるということに感謝しているので、今後も続けていただきたい。
- ・GIGA パソコンを活用して IT 化していく流れで、それもととも必要なことは認識しているが、実際に手を使って本をめくるとか、においを感じるとかという五感を使うことで脳が発達していくこともある。本や読書とつながる機会が継続されて、子どもたちに与えられていくことをサポートしていただきたい。
- ・いじめ・不登校対策について、初動の部分、いじめかどうかわからない人間関係のトラブルや、いじめという言葉を使っていいかどうかといった事案に対して、学校内での組織的な対応、体制が大切でありしっかりできていると思う。
- ・生成 AI が学校教育の現場でどう関わっていくか。生徒が自分で考えなくても生成 AI が考えてくれる時代だけれども、生徒は自分の頭で考えることが大事で、自分の頭で考えることは言葉も大事になる。言葉を知るためには読書は非常に大事だと思うので、読み聞かせから保護者への啓発を含めて更に進めてほしい。

2 生涯学習の推進

- ・勤労青少年への活動支援について、小千谷には若い人がいっぱいいますし、話してみると孤独を感じているので、若い人が集まるようなイベントを企画してほしい。
- ・新しい図書館の近いところだけでなく遠いところもあるので、イベントとかで初めて人が図書館に来る機会も大事ですし、いろんなアイデアを出していただいて、新しい図書館ができたときはひとつのきっかけとして、どこに住んでいても小千谷市民が新しい図書館に親しみを感じて通えるように配慮していただきたい。

3 文化の振興

- ・小千谷市から外に出ていくということは仕方ないけれども、離れても戻ってきたいと思えるような町にするために、教育の中で歴史や郷土を伝えることを継続して行ってほしい。

4 スポーツの振興

- ・子どもたちの市内大会がなくなり、親御さんやおじいちゃん、おばあちゃんたちがそれを応援してあげる場所がない。応援もスポーツの一部なので、皆が集まってスポ

ーツを楽しもうという機会があればいい。

・国際交流文化スポーツ基金は、素晴らしい基金だし、いろんなことに使えるので、増やす方策を考えてほしい。

5 人口減少対策

・人口減少対策で、今後の新しい取組みに期待したい。

・以前は、子守をしてくれる人や地域の人と連携し、知り合いを作るチャンスもあったが、今は核家族で自分たちの楽しみだけをもっていて、隣近所、誰一人知らないの
で、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和5年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目1番38号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519

FAX 0258-83-5779